

【第2回モズク・ラボ 市民セミナー】

最新のフコイダンの機能性

この度第2回モズク・ラボ市民セミナー“最新の「フコイダンの機能性」”を沖縄県那覇市にあります沖縄産業支援センター（中ホール）で開催させていただくことになりました。オキナワモズク(*Cladosiphon okamuranus*)は南西諸島固有種の食用海藻です。1970年代に沖縄県水産試験場によって栽培技術が開発され、その後、沖縄県内の各漁協に普及しました。現在では年間生産量約2万トン、全国生産量の9割以上を占める沖縄県の主力水産物となっています。本セミナーでは、オキナワモズクを原料に機能性多糖であるフコイダンを世界で初めて工業的に製造する技術開発を行い、創業から15年にわたりオキナワモズクの産業に携

わってきた株式会社サウスプロダクトの伊波匡彦(薬学博士)社長より、オキナワモズ由来のフコイダンの特徴や優位性について、ご説明いたします。また、15年にわたり、フコイダンの機能性研究を行ってきた長嶺竹明(医学博士)先生から、最新の研究成果にもとづくフコイダンの機能性についてご紹介いただきます。そして、参加していただいた皆様や事前いただいたご質問等について、2名の博士にお答え頂く時間も設け、オキナワモズクとフコイダンへの理解をより深めていただく機会を作ればと思っております。

SEMINAR.01 14:05~

オキナワモズク フコイダンの優位性

フコイダンはモズクやコンブなどの褐藻に含まれる硫酸化フコースを主成分とする多糖類の総称です。同じ「フコイダン」と呼ばれても原料となる海藻がかわると化学構造や生理活性が大きく異なります。また、同じ海藻でも抽出・精製法が異なると分子量が異なるフコイダンになります。

オキナワモズクはフコイダンの原料としてたいへん優れています。オキナワモズクフコイダンの特徴や優位性を他の海藻由来のフコイダンと比較しながらわかりやすくお話しします。



伊波 匡彦

株式会社サウスプロダクト代表取締役社長 薬学博士

【プロフィール】

沖縄県北大東村出身。九州大学大学院薬学研究院卒。薬学博士
1992年株式会社トロボカルテクノセンター研究員。在職中にフコイダンの工業生産技術開発に成功。オキナワモズクからフコイダンを製造・販売するビジネスモデルで2002年沖縄ベンチャービジネス大賞受賞。これをきっかけにサウスプロダクト設立。代表取締役社長就任。現在、オキナワモズクとフコイダンの付加価値を高める活動に注力中!

SEMINAR.02 15:05~

明らかになってきたオキナワ モズクフコイダンの機能性

オキナワモズクのフコイダンは小腸から吸収されることが明らかになり、その吸収のメカニズムも研究が進んでいます。フコイダン吸収の研究は、これまで説明できなかったフコイダンの機能性を確かなものにしていきます。

また、ヒトに対するフコイダンの投与試験、HTLV-1の感染者に対する投与試験を行っており、その経過や学術論文で報告される最新のフコイダンの機能性についてわかりやすくご説明します



長嶺 竹明

群馬大学名誉教授 医学博士

【プロフィール】

沖縄県那覇市出身。群馬大学医学部卒。医学博士。1976年群馬大学医学部を卒業後同学部第一内科に入局。1996年米国立衛生研究所(NIH)特別研究員。1998年群馬大学医学部保健学科教授。肝臓におけるフコイダンの機能性研究からフコイダンが吸収されることを発見。2015年退官後沖縄に戻り、現在大道中央病院副院長。引き続きフコイダンのヒト試験を実施中。
日本内科学会(認定医)、日本消化器病学会(専門医)、日本肝臓学会(専門医)。

SEMINAR.03
15:50~

Q&A 皆様の質問に お答えいたします。

申込みの際に、皆様からお寄せいただいたご質問に、講演者2名がお答えいたします。講演内容でわからなかった点、再度説明してほしいところなどがあればこのお時間で対応してまいります。

申込書

氏名	ふりがな	年齢	
ご連絡先	(日中にご連絡が可能な番号)	ご参加人数	

今回は、わずかではございますが、皆様からのご質問にお答えするお時間を設けました。演者2名へお聞きしたいことがございましたら、下記へご記入をお願い致します。

(注) お時間の関係上、本セミナー内でご質問にお答えできない場合がございます。なるべく皆様のご質問にお答えできるよう努めますが、ご理解のほどよろしくお願い致します。

申し込み方法

電話・FAXもしくは、申込書を下記宛先まで送付ください。電話でお申し込みの際は、「フコイダンのセミナーの申込み希望」とお伝えください。

株式会社 沖縄イニシアティブ TEL:098-852-1850 FAX:098-852-1851